

広報さくら

◆◆ 第116号 ◆◆ 令和5年7月15日
発行:日本大学明誠高等学校後援会



主な内容

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| ○ごあいさつ……………会長…………… 2 | ○球技大会…………… 12～13 |
| ○ごあいさつ……………学校長…………… 3 | ○令和5年度後援会研修会報告…………… 14 |
| ○教職員紹介…………… 4～9 | ○体育祭…………… 15～17 |
| ○令和4年度謝恩会を振り返って…………… 10 | ○編集後記…………… 18 |
| ○令和5年度部会紹介…………… 11 | |



令和5年度の後援会会長を務めさせていただく小林茂明です。微力ではありますが、生徒たちの高校生活がより充実したものになるよう尽力したいと思っておりますので、役員一同、会員の皆様そして先生方のお力添えを賜りますようお願いいたします。

さて、長く続いたコロナ禍はようやく終わりを迎えようとしておりますが、生徒たちはお互いを思いやり、励ましあい、支えあいこの局面を乗り越えてきました。コロナ禍であったからこそ、誠祭などの諸行事を行うためには何をすればいいのか、どういう工夫をすればいいのかなど、目標を掲げて計画し挑戦することで、今まで以上に考える力を養い、創造力を身に着けることができたのではないのでしょうか。

後援会活動においても、昨年度から徐々に制限も緩和されており、今年度はかつてのような活発な後援会活動を再開できるものと期待をしております。生徒たちの青春の1ページに花を添えられるような活動を目指していきたくと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

☆誠祭でのバザー・お茶処「誠風」の開催☆

日頃より生徒たちを温かく見守って下さる上野原市の皆様や、お世話になっている多くの方々へ感謝の気持ちを込めたバザーを開催します。併せて一息つける憩いの場として、お茶処「誠風」を開設します。

☆強歩大会への支援☆

校外がコースとなる強歩大会では、コースの安全管理を行いながら生徒たちに声援を送り、ゴールした生徒に振舞う豚汁作りを行います。寒い時期なので温かく美味しい豚汁が生徒と保護者の心をつなぎます。

☆卒業謝恩会の開催☆

卒業式の後、3年間お世話になった先生方に感謝の気持ちを伝える謝恩会を開催します。この謝恩会では先生方からも生徒たちとの思い出話や面白いエピソードを伺うことができます。3学年委員の後援会活動最後のイベントとして、映像も交えて思い出を作る素敵な会にしたいと思います。

その他にも、日本大学への学部訪問や後援会主催の講演会の開催、後援会活動を皆様にお伝えする「広報さくら」の発行や学校HPへの情報提供などを行います。

緑に恵まれた環境と、新しく完成する新校舎の下で、「人間力育成」に力を注ぐ明誠高校の教育活動が実りあるものになりますように、後援会として学校行事を支援していきますので、保護者の皆様の積極的なご参加とご協力をお願いいたします。

最後に、子どもの成長を肌で感じ、学校生活を垣間見ることができることと、父の母校でもある日本大学明誠高校後援会に携われたことに感謝します。



前列左から

田中 英宣
松浦 敬子
小泉 和章
小林 茂明
小宮 昌巳

第2学年担当副会長
第1学年担当副会長
第3学年担当副会長
会長
顧問

後列左から



日本大学明誠高等学校後援会の皆様、はじめまして。土屋明彦前校長の定年退職にともない、令和5年4月より校長に就任いたしました松井寛之と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。就任にあたり自己紹介をさせていただきます。生まれ年は昭和35年なので明誠高校と同年ということになります。出身校は日大櫻丘高校→日本大学文理学部社会学科です。卒業後6年間の非常勤講師を経て、専任教諭として平成元年度より日大山形高校に17年間、日大鶴ヶ丘高校に13年間勤務しました。そして令和元年度から4年間母校の櫻丘高校で教頭として勤務した後、本校へ赴任して参りました。幼少のころ体が弱かった私は、父の勧めにより小学校低学年から町道場で剣道を始め、中・高・大と剣道部に所属、教職に就いてからも、一貫して剣道部顧問を勤めてきました。現在も地元の道場で稽古を継続しており、現在七段です。

さて、このような経験から私は、「人間教育」を標榜する本校に欠かせないのが、授業を中心とする学習活動はもとより、各種行事、生徒会活動、部活動などの課外活動だと考えております。ホームルームを主体とする学校行事は、計画の段階から行事の遂行、振り返りまで、個々の生徒の自主性や仲間との協力・協調性、クラスの団結力などを必要とします。また、生徒会活動や部活動にお

いては、集団の目標達成のための主体的な取り組みや協働性、チームワークが問われます。そして、これらの活動においては、たとえその結果が満足できるものでなくても、主体的に考え、仲間と協力して成し遂げたことで、生徒自身に達成感を醸成し、それが自己肯定感に繋がってゆくと考えられます。

よく人生を航海に例えて「荒波に舟を漕ぐ」という表現が使われますが、生徒たちの学校生活を終えた後の人生は、まさに自分の力で舟を漕いで次々と現れる波を乗り越えていく力が求められてきます。特にAIが人間の知能を超え私たちの生活に著しい変化をもたらすシンギュラリティ（技術的特異点）が、一説では2045年に来ると言われており、今の高校生が40代の働き盛りのころには世界が激変すると考えられています。その中で、正解のない問いに対して主体的に考え、同時に他の多様な人々と協調して協力し、自らの答えを見出し実践、検証しなくてはなりません。このような力を身に付けるには正解が決まっている既存の学問は基礎知識として蓄積しつつも、様々な課外活動から得られる自己肯定感を持って、主体的に生きる能力や態度が必要となります。

日本大学の教育理念は「自主創造」で、その構成要素は「自ら学び、自ら考え、自ら道を切り開く」となっています。明誠高校の生徒たちには20年、30年後、「自主創造」の精神により、自分に誇れる生き方をしてもらいたいと願っています。私たち教職員の役割は、生徒たちに寄り添いながら様々な活動に手を差し伸べ、生徒自身が主体的に取り組めるよう背中を押すことです。明誠高校では伝統的に生徒と先生との距離が近い、親しみやすい関係を築いてきました。生徒と先生が共に考え、悩み、実践し、そして感動する、そんな高校生活を送れるよう努めていく所存であります。今後とも本校の教育活動に、ご理解ご協力をお願いいたします。私のご挨拶いたします。



教職員紹介

令和5年度

専 任



まつい ひろゆき
松井 寛之 校長
担当教科 地歴・公民



いとう はるか
伊藤 悠 1-2
担当教科 英語
部活動 美術



おおもと じゅん
大桃 淳 教頭
担当教科 英語



くろかわ ゆうき 生徒会指導部主任
黒川 雄樹 1-3
担当教科 数学
部活動 吹奏楽



なかがわ まさもと 教務部主任
芸術科・
家庭科主任
中川 正基
担当教科 数学
部活動 書道



わかな しょうた
若菜 翔太 1-4
担当教科 理科
部活動 ハンドボール



おおもり やすかつ 生活指導部主任
2学年付
大森 康勝
担当教科 国語
部活動 ラグビー



ひらの まきこ
平野 真紀子 1-5
担当教科 英語
部活動 卓球・茶道・華道



かねこ まこと 進路指導部主任
3学年付
金箱 信
担当教科 地歴・公民
部活動 吹奏楽



さいとう だいき
齋藤 大樹 1-6
担当教科 保健体育
部活動 剣道



こいずみ こうた 広報部主任
1学年付
小泉 宏太
担当教科 国語
部活動 ダンス



ほしの よしひろ
星野 義博 1-7
担当教科 地歴・公民
部活動 野球



へんみ かずや
辺見 和也 1学年主任
担当教科 数学
部活動 空手道
サッカー



かねだ まさゆき 地歴・公民科主任
金田 真幸 1-8
担当教科 地歴・公民
部活動 ラグビー



たかぎ ひろし
高木 宏 1-1
担当教科 数学
部活動 硬式テニス



ごとう さとし
後藤 聡志 1-9
担当教科 保健体育
部活動 サッカー

教職員紹介

令和5年度

専任



やまうち わきこ
山内 和貴子 1学年付
担当教科 国語
部活動 文芸
茶道・華道



みよし たかひさ
三好 孝尚 2-6
担当教科 地歴・公民
部活動 野球



ごとう あきひと
後藤 明仁 1学年付
担当教科 地歴・公民



おぐち てつお 保健体育科主任
小口 哲生 2-7
担当教科 保健体育
部活動 野球



すがわら ゆきこ
菅原 由紀子 2学年主任
担当教科 国語
部活動 バドミントン



こみね ひろよし
小峰 浩義 2-8
担当教科 国語
部活動 サッカー
文芸



やました ゆういちろう
山下 雄一郎 2-1
担当教科 英語
部活動 写真・軽音楽



みやざと ともか
宮里 朋栞 2-9
担当教科 保健体育
部活動 女子バスケットボール



ひらかわ さとし 英語科主任
平川 慧 2-2
担当教科 英語
部活動 硬式テニス



そえだ あつし
添田 敦 2学年付
担当教科 数学



ひぐち ひろな 理科主任
樋口 弘奈 2-3
担当教科 理科
部活動 ダンス



ながしま さわ
長島 澤 3学年主任
担当教科 国語
部活動 バドミントン



みやがわ ひろこ
宮川 浩子 2-4
担当教科 数学
部活動 家庭科



やはた けんと 数学科主任
八幡 健斗 3-1
担当教科 数学
部活動 サッカー
体操同好会



まつしま のぶお 図書部主任
松嶋 暢夫 2-5
担当教科 地歴・公民
部活動 陸上競技



わたなべ ようすけ
渡邊 陽介 3-2
担当教科 理科
部活動 自然科学
硬式テニス

教職員紹介

令和5年度

専任



おおはた まさと
大畑 真人 3-3
担当教科 数学
部活動 水泳



さいとう おさむ
齋藤 理 3-8
担当教科 保健体育
部活動 男子バレーボール



おくあき まみか
奥秋 真美香 3-4
担当教科 英語
部活動 女子バレーボール



みまつ しん'や
三松 辰宇 3-9
担当教科 英語
部活動 軽音楽
サッカー



あらい たかふみ
新井 孝文 3-5
担当教科 理科
部活動 男子バスケットボール



さくらい まな
櫻井 愛奈 3-10
担当教科 保健体育
部活動 サッカー



あべ えいすけ 国語科主任
阿部 栄祐 3-6
担当教科 国語
部活動 ハンドボール



にしじま やすあき
西島 泰明 3学年付
担当教科 英語
部活動 写真



うめだ ゆうじ 保健衛生部主任
梅田 祐司 3-7
担当教科 地歴・公民
部活動 スキー



おさだ あずさ
長田 梓
養護教諭



教職員紹介

令和5年度

非常勤



あさの あやか
浅野 彩香

担当教科 芸術(音楽)



かとう ひろかず
加藤 廣和

担当教科 数学



いいた まさき
飯田 正暉

担当教科 理科



くろだ くみ
黒田 久美

担当教科 国語



いいたか のぞむ
飯高 望

担当教科 数学



くわた ゆきと
桑田 征人

担当教科 芸術(書道)
部活動 (書道)



いのうえ としひろ
井上 俊博

担当教科 理科



こばたけ えりこ
小畑 映理子

担当教科 理科



えざわ みのり
江澤 実紀

担当教科 国語



こばやし やすかず
小林 泰一

担当教科 英語



いぶき けいこ
膽吹 恵子

担当教科 家庭



こばやし ゆみこ
小林 柚実子

担当教科 国語



おおの りん
大野 倫

担当教科 保健体育
部活動 (サッカー)



こばやし りんたろう
小林 麟太郎

担当教科 地歴・公民
部活動 (卓球)



おぎはら けんた
萩原 健太

担当教科 地歴・公民
部活動 (ラグビー)



こんどう みちこ
近藤 路子

担当教科 英語

教職員紹介

令和5年度

非常勤



しらとり ともみ
白鳥 朋美

担当教科 国語



のむら まさひろ
野村 正博

担当教科 数学



すずき だい
鈴木 大

担当教科 保健体育
部活動 (サッカー)



はしもと たく
橋本 拓

担当教科 情報
部活動 (スキー)



たけだ よしあき
竹田 佳昭

担当教科 地歴・公民



はた しんや
秦 伸也

担当教科 地歴・公民



てしま しょうた
手嶋 祥太

担当教科 保健体育
部活動 (サッカー)



ふじもと ゆうじ
藤本 裕二

担当教科 理科



てづか ロンダ リン
手塚 ロンダ リン

担当教科 英語



みわ あきこ
三輪 亮子

担当教科 数学



なかい たかのり
中井 貴則

担当教科 英語



むらおか こうたろう
村岡 晃太郎

担当教科 芸術(美術)



なかじま しゅうま
中島 秀馬

担当教科 地歴・公民
部活動 (野球)



やまもと やすお
山本 康雄

担当教科 芸術(音楽)



なかむら ひろし
中村 宙

担当教科 英語



職 員



ふじい やすひろ
藤井 靖博

事務長



みずこし
水越 ゆかり

庶務係特任課長補佐



たかはし
高橋 アツサ

経理長



たかはし かつのり
高橋 克徳

管財係

※高橋アツサ経理長は5月に定年を迎えられ、現在、藤井事務長が経理長兼任。



もりわき あきひこ
森脇 暁彦

特任課長



さいとう ひろき
齊藤 拓希

会計係



いちの ゆうすけ
市野 祐輔

会計係特任課長補佐



くろだ ゆりこ
黒田 ゆり枝

庶務係



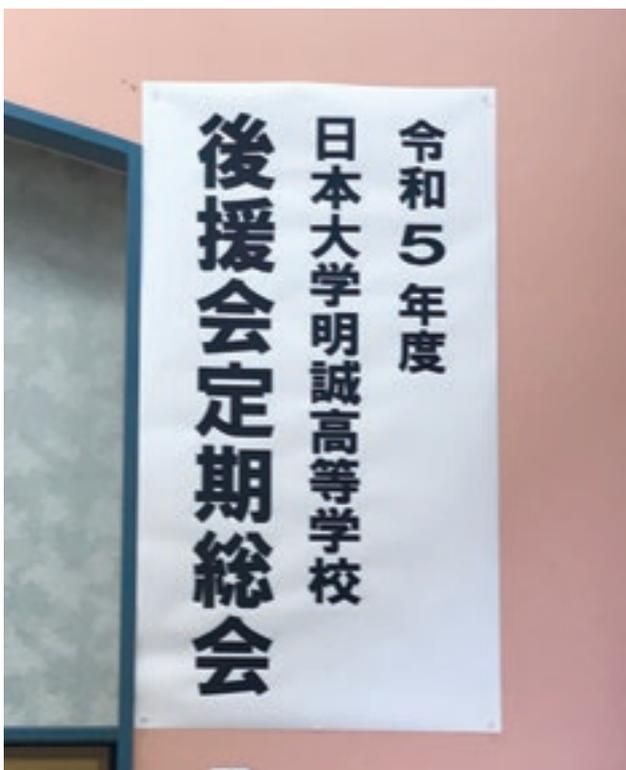
しまざき ゆきえ
嶋崎 由喜江

庶務係



やまぎし まゆみ
山岸 真由美

図書係



春の陽気に恵まれた3月1日、卒業生が学び舎を巣立っていきました。この学年はコロナの影響を最も受けた学年で、入学式は教室で、翌日より約2ヶ月間自宅学習となってしまう、全てにおいて制限のある生活を余儀なくされました。それでも、担任の先生をはじめ教職員の方々のお陰で無事卒業することができました。その感謝を込めて、多数の保護者にお集まりいただき卒業謝恩会を行いました。当日は、先生方が予餞会のために

制作してくださったDVDを放映し、新旧担任も交えて3年間の思い出話に花が咲きました。在学中はコロナ禍ということもあり、先生方とじっくりとお話をする機会がほとんど無かったため、今回、最後に直接お礼が言えたことも含め非常に有意義な会となりました。最後になりましたが、謝恩会に出席を頂きました保護者並びに謝恩会実行委員会担当者、1、2年生のお手伝いをいただきました方々に、熱く御礼申し上げます。



令和5年度部会紹介

総務部

総務部会は総会の準備・運営、後援会行事が円滑に遂行出来るよう取り纏めをします。

「やれる事をやれる人が」をモットーに協力、役割分担、後援会活動のスマート化を進め、楽しく活動していきます。

少しずつ日常を取り戻しつつある今、学校行事も参加できることが増え、たくさん後援会行事が予定されております。生徒の皆さんや先生方だけでなく、保護者の皆様にも良い思い出を作ってもらえるように尽力して参ります。

研修部

研修部会の活動には、役員・委員を対象として、日本大学学部訪問研修会と後援会主催講演会があります。その中でも日本大学の学部訪問が大きな行事の1つです。研修会の企画・運営を行い、実施いたします。昨年度は法学部への学部訪問でしたが、今年度は文理学部へ訪問しました。コロナ以降オープンキャンパスに親子で参加する事が少なくなった今、キャンパス内の見学、先生方や日大明誠高校卒業生の話を聞ける貴重な機会となりました。実際に大学へ足を運んでみなければわからない事もあり、大学の雰囲気を感じ・知る良い機会でした。

多くの役員・委員の皆様、学部訪問研修会と後援会主催講演会へのご参加、ご協力を今後もお願い致します。



新旧役員歓送迎会(京王プラザホテル)

広報部

広報部会の主な仕事は、後援会広報誌「さくら」の発行です。

後援会の取り組みや学校行事などを取材し、後援会の会員の皆様にお知らせすることを目的としています。

会員の皆様が参観できない行事における生徒の活動は、特に力を入れて取材、撮影し、会員の皆様に楽しんでいただけるような記事を紹介できるよう取り組んでいます。

会計委員 会計監査委員

年度初めに、事務局より各部会に予算をお渡し、年度末には決算書を作成し領収書、活動費の残金を各部会より提出して頂きます。

会計は決算書に基づき、領収書や活動費の残金が合っているかを確認し残金を事務局へお返しします。

会計監査は会計と事務局から提出された決算書と領収書を後援会銀行口座の預金残高証明書と照らし合わせて問題ないかを確認し、監査報告書に署名、捺印をします。定期総会で会計処理が適正に行われていることを報告します。





6月10日(土)後援会を対象とした研修会が開催され、日本大学文理学部キャンパスに訪問させていただきました。学校側より松井校長先生をはじめ8名の先生方と後援会役員・委員合わせて総勢69名での研修会となりました。文理学部キャンパスは、京王線の桜上水駅と下高井戸駅から徒歩で8分程のところであり、正門前までの道には桜並木があり、広大で緑豊かな環境です。説明会では岡文理学部長のお話で始まり、学部概要・入試制度について、教職コースの概要、就職状況と就職支援の取り組み、明誠高校卒業生3名による講演会がありました。文理学部は人文系・社会系・理学系の3系統全18学科からなる総合学部であり、文理融合の学びを特色とした教育を行なっているそうです。所属学科の枠を超え、文系理系を問わず学ぶことが出来るのも特徴の一つです。また就職支援サポートセンターの手厚い支援により、高い就職率を誇っています。公務員採用試験対策講座や教職センターを設置し、公務員・教員を目指す学生にきめ細やかなサポートを行なっています。明誠高校卒業生の話では、志望理由や大学生活の様子、高校生へのアドバイスの話があり、高校の先生の影響で文理学部を選択したことや、学びたい事があり他の学科の授業も受けていること等、沢山の話を聞きました。ガイドの学生に説明をしてもらいながらキャンパス見学を行ないました。図書館は95万冊という日大の中でも最大の蔵書数、また資料館では伊能忠敬の「伊能図」が展示してあり見ることができました。体育館や学生が利用出来るスポーツジムも併設されていることや、昼食は学生食堂のメニューをお弁当にいただき食べました。ボリュームがあり、とても美味しかったと好評でした。

このような充実した施設、学業に専念しやすい環境が整っているのは勿論、充実した学生生活が送れることに、親としては安心致しました。短い時間でしたが、大学の雰囲気を楽しむことができました。

研修会が開催できたことに文理学部の皆様、明誠高校の先生方に感謝申し上げます。また参加された後援会役員・委員の皆様、ご協力ありがとうございました。ぜひ来年度の研修会にも多くの後援会の皆様に参加して頂き、日本大学の素晴らしさを実感していただければと思います。









令和5年度 後援会活動報告と予定

令和5年

- 5月 後援会定期総会
新旧歓送迎会
第1回役員会
第1回委員総会・学年別委員会
- 6月 学部訪問日本大学文理学部
体育祭
- 7月 「広報さくら」発行116号
- 9月 後援会主催講演会
祭典パトロール
- 11月 第2回役員会
第2回委員総会・学年別委員会
誠祭バザー・お茶処誠風準備
誠祭バザー・お茶処誠風実施

令和6年

- 1月 賀詞交歓会
- 2月 アカデミア明誠
強歩大会支援準備
強歩大会支援実施
- 3月 卒業式・卒業謝恩会
「広報さくら」発行117号
- 4月 入学式
第3回役員会
- 5月 球技大会
第4回役員会・後援会定期総会

◆ 編集後記 ◆

新型コロナウイルスが5類への移行となり以前のような生活様式に戻りつつあるなかで、マスクなしの姿も見られるようになってきました。

5月は球技大会、6月は体育祭と生徒たちにとっては思い出に残る大きな行事が続きました。

「さくら」116号の発行にあたり、原稿をお寄せくださいました松井校長先生、後援会の役員の皆様に感謝申し上げます。

「さくら」を通して、学校行事や後援会活動の様子を会員の皆様に紹介することで、親子の会話がさらに弾むような紙面作りを、すすめていきたいと思っています。

一年間よろしく願いいたします。

(部員一同)